



令和7年度 学校だより

城南っ子

〔学校教育目標〕

自律的に学び、認め合い、
ともに成長しようとする児童の育成

○自律的に学ぶ子 ○仲間を大切にする子 ○心身ともに健やかな子

那覇市立城南小学校

令和7年9月2日

第23号

文責：校長 田島正敏

WBSC U-18野球ワールドカップ開催に向けて

8月29日(金)の3校時に4年生から6年生がWBSC U-18野球ワールドカップ支援事業の事前学習会を行いました。

9月5日～14日まで世界12カ国(チーム)16歳～18歳の選手が野球で世界一を決める大会がセルラースタジアムと西崎球場を会場に行われます。日本チームは前回大会優勝、今回は甲子園で大活躍した沖尚の末吉投手が唯一2年生から選ばれて話題になっていますね。

2年に一度の世界大会がここ沖縄で開かれるというチャンスに城南小学校は参加するチームのサポート応援団に申し込んだところ『パナマ』チームの応援団に決定しました。

学習会では、吉本興業の芸人である空馬(くうば)さんが、スライドを使って、なぜ、開催地に沖縄が選ばれたのかをはじめ、野球のルール、パナマ共和国の紹介まで、盛りだくさんの内容を芸人らしく、楽しく説明してくれました。

沖縄が開催地となったのは、プロ野球のキャンプ地として野球との関わりが深いこと、戦後80年を迎え、平和の発信地として選ばれたとのことでした。

パナマについては、国旗や国土について、野球の伝来がパナマ運河建設のためにパナマを訪れた米国人労働者から伝わったこと、パナマではサッカー、ボクシングと並ぶ人気のスポーツであること、明るくフレンドリーな国民性、スペイン語が公用語であること、スペイン語で「バモス! 行け」「アニモ! がんばれ!」など応援の言葉も学びました。

そして、迎える9月7日(日)には(台湾×パナマ)の試合を西崎球場に応援に行きます。事前にPTAからの呼びかけで参加を希望したおよそ80名の応援団でパナマの選手を応援していきます。

また、選手との交流も別日に予定されていますので交流を深めたいと思います。



パナマについての事前学習は、空馬さんの絶妙なリードで大盛り上がりでした。



パナマは北米と南米の間にあります。パナマ共和国の国旗です。



WBSC U-18応援サポーター用のTシャツです。(背面)



パナマ料理のセビーチェ(上)とアロスコンボージョ(下)



横断幕の作成も進んでいます。

照屋寛孝文庫について



今年も地域の照屋寛孝様より図書費を寄贈いただきました。子どもたちの読書活動に充ててほしいと毎年相当額の寄付をいただいております。図書館事務の真理子先生が子どもたちに人気の本をチョイスして注文していた本が夏休みの間に届きました。(詳細は図書だよりで確認ください)まだ貸し出しをして間もないのですが、好評のようで、早々に多くの本が貸し出されています。真理子先生の話によると、図書室にはおよそ1万4000冊ほどの蔵書があり、この規模の学校では多いそうです。

おかげさまで城南っ子には本好きの子どもがたくさんいます。みんなで本を大切に、たくさんの人を読んでほしいです。

パナマの名所



パナマ運河



カスコ・ビエホ

クラブ見学 3年生



1日(月)は3年生のクラブ見学でした。4年生から始まるクラブに向けて見学して廻り何にするか大方決めておくためのものです。いろいろなクラブがある中で、

三味線クラブは「ていんさぐぬ花」をみんなで演奏しながら歌も披露しました。数回のクラブ活動でとても上達しているのが驚きでした。